

祝 いば 議会だより

第118号

令和7年4月

発行
編集

宮崎県椎葉村議会

議会だより編集委員会

〒883-1601

宮崎県東臼杵郡椎葉村大字

下福良1762番地1

TEL (0982) 67-3209

村内無料電話 7-67-0091



・3月定例会 (2～5)

・一般質問 (5～9)

・総括質疑

..... (9～10)

・議員活動報告 (11)

・議会の動き (12)

令和7年3月定例会

令和7年3月5日から14日まで3月定例会が開催され、同意3件、承認2件、諮問1件、議案48件を可決承認しました。

3月定例会で審議、議決したこと

議案番号	件 名	審議審査 結果
同意第1号	椎葉村教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	同 意
同意第2号	監査委員の選任つき同意を求めることについて	同 意
同意第3号	椎葉村固定資産評価審査委員会委員の選任つき同意を求めることについて	同 意
承認第1号	令和6年度椎葉村一般会計補正予算(第10号)について	承 認
承認第2号	専決処分について(椎葉村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例)	承 認
諮問第1号	椎葉村人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同 意
議案第1号	令和6年度椎葉村一般会計補正予算(第11号)について	可 決
議案第2号	令和6年度椎葉村国民健康保険特別会計補正予算(第5号)について	可 決
議案第3号	令和6年度椎葉村簡易水道事業特別会計補正予算(第6号)について	可 決
議案第4号	令和6年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計補正予算(第5号)について	可 決
議案第5号	令和6年度椎葉村電気事業特別会計補正予算(第6号)について	可 決
議案第6号	令和6年度椎葉村介護保険特別会計補正予算(第5号)について	可 決
議案第7号	令和6年度椎葉村後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)について	可 決
議案第8号	令和6年度椎葉村ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算(第6号)について	可 決
議案第9号	令和7年度椎葉村一般会計当初予算について	可 決
議案第10号	令和7年度椎葉村国民健康保険特別会計当初予算について	可 決
議案第11号	令和7年度椎葉村簡易水道事業特別会計当初予算について	可 決
議案第12号	令和7年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計当初予算について	可 決
議案第13号	令和7年度椎葉村電気事業特別会計当初予算について	可 決
議案第14号	令和7年度椎葉村介護保険特別会計当初予算について	可 決
議案第15号	令和7年度椎葉村後期高齢者医療特別会計当初予算について	可 決
議案第16号	令和7年度椎葉村ケーブルネットワーク事業特別会計当初予算について	可 決
議案第17号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第18号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第19号	椎葉村区設置条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第20号	椎葉村農産物直売所の指定管理者の指定について	可 決
議案第21号	椎葉村ファミリーサポートセンターの指定管理者の指定について	可 決
議案第22号	椎葉村税条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第23号	椎葉村辺地総合整備計画の策定について	可 決

議案番号	件 名	審議審査 結果
議案第24号	新ひむか「水車がきしむふるさと工場」設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	可 決
議案第25号	新ひむか椎葉学習塾の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	可 決
議案第26号	集会センター設置条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第27号	椎葉村寡婦医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第28号	椎葉村椎茸生産施設設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	可 決
議案第29号	椎葉村営住宅設置条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第30号	椎葉村水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第31号	工事請負変更契約の締結について(令和5年度 4年災 第90号 普通河川耳川水系 水無川 河川災害復旧工事)	可 決
議案第32号	工事請負変更契約の締結について(令和5年度 4年災 第91号 普通河川耳川水系 水無川 河川災害復旧工事)	可 決
議案第33号	工事請負変更契約の締結について(令和5年度 4年災 第1376号 普通河川耳川水系 内の八重川 河川災害復旧工事)	可 決
議案第34号	工事請負変更契約の締結について(令和5年度 4年災 第1380号 普通河川耳川水系 大久保谷川 河川災害復旧工事)	可 決
議案第35号	工事請負変更契約の締結について(令和5年度 4年災 第1386号 村道大河内桑の木原線 道路災害復旧工事)	可 決
議案第36号	工事請負変更契約の締結について(令和5年度 4年災 第1391号 村道川の口上線 道路災害復旧工事)	可 決
議案第37号	工事請負契約の締結について(令和5年度 4年災 林道間柏原～中山線 4号箇所 林道施設災害復旧工事)	可 決
議案第38号	工事請負変更契約の締結について(令和5年度(令和4年度繰越) 林道横野・尾前線1号箇所 林道施設災害復旧工事)	可 決
議案第39号	工事請負変更契約の締結について(令和5年度(令和4年度繰越) 林道渡川～大藪線7号箇所 林道施設災害復旧工事)	可 決
議案第40号	工事請負変更契約の締結について(令和5年度(令和4年度繰越) 林道十根川～三方界線8号箇所 林道施設災害復旧工事)	可 決
議案第41号	工事請負変更契約の締結について(令和5年度 地方創生道整備推進交付金事業 林道馬口岳線開設工事)	可 決
議案第42号	村道路線の認定について	可 決
議案第43号	村有財産(山林)の売り払いについて(村行分収造林 椎葉村大字下福良字下福良375番地85)	可 決
議案第44号	村有財産(山林)の売り払いについて(村行分収造林 椎葉村大字下福良字下福良375番地86)	可 決
議案第45号	村有財産(山林)の売り払いについて(村行分収造林 椎葉村大字下福良字下福良375番地82他)	可 決
議案第46号	村有財産(山林)の売り払いについて(村行分収造林 椎葉村大字不土野字坂本1682番地100他)	可 決
議案第47号	工事請負契約の締結について(令和6年度 椎葉中学校校寄宿舎改修工事)	可 決
議案第48号	令和6年度椎葉村国民健康保険特別会計補正予算(第6号)について	可 決

議案の主な内容

●承認第1号

令和6年度 補正予算 一般会計(第10号) 補正額 862千円 → 総額7,117,969千円
補正の主な内容

1・教育費:夢織りの館改築費…測量設計委託管理業務 862千円

●議案第1号

令和6年度 補正予算 一般会計(第11号) 補正額 61,507千円 → 総額7,179,476千円
補正の主な内容

〔収入〕

1・農林水産業費県補助金:地籍調査費補助金 9,780千円

2・教育費国庫補助金:学校建築費補助金 66,488千円

3・総務費国庫補助金:物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 32,244千円

〔支出〕

1・総務費:地積調査費…測量設計委託料 13,040千円

2・教育費:寄宿舎建築費…測量設計委託・工事請負費 246,231千円

3・民生費:社会福祉費…低所得者支援枠給付金 15,440千円

4. // // …障害者福祉費介護給付費 10,810千円

●同意第2号 監査委員の選任

代表監査委員に椎葉隆文氏

令和7年3月21日をもって任期が満了する椎葉村代表監査委員に、新たに椎葉隆文氏(上椎葉中1)を選任することに同意しました。

任期は、令和7年3月22日から令和11年3月21日までの4年間です。

●同意第3号 椎葉村固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員会委員に那須秀徳氏

椎葉村固定資産評価委員会の委員に欠員が生じたため、補欠の委員として那須秀徳氏(古枝尾上)を選任することに同意しました。

任期は令和7年3月6日から令和7年6月16日までです。

●諮問第1号 椎葉村人権擁護委員の候補者の推薦

椎葉村人権擁護委員に椎葉藤香氏

現在、委員である椎葉藤香氏(矢立)が令和7年6月30日をもって任期が満了することから、引き続き椎葉藤香氏を委員として推薦することに同意しました。

任期は、令和7年7月1日から令和10年6月30日までの3年間です。

●議案第20号:八菜館しいば店閉店から椎葉村直売所開店へ!

村民の皆さまにご利用いただいた「八菜館しいば店」が3月末で閉店、JAから施設及び設備の寄付を受けた村が新たに指定管理者による施設管理を行うことになりました。生産者及び消費者による地産地消の好循環を期待します。

指定管理者:宮崎県農業協同組合

指定管理期間:令和7年4月1日～令和9年3月31日

●議案第21号:ファミリーサポートセンターの指定管理

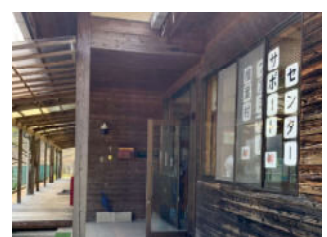
令和6年度に旧上椎葉児童館を子ども・子育て支援活動拠点として「椎葉村ファミリーサポートセンター」として設置しました。そのセンターの指定管理者を次のとおり決定しました。

指定管理者:特定非営利活動法人(NPO)はじまる

指定管理機関:令和7年4月1日～令和9年3月31日

●議案第24号・25号:新ひむか「椎葉学習塾」、「水車がきしむふるさと工場」設置条例を廃止

昭和61年に発足した尾向地区の「焼畑継承会」の活動を機に、松形元知事が提唱した新ひむかづくり事業により整備された「学習塾」と「ふるさと



工場」が廃止されます。学習塾は、峰越林道開通祝賀会式場としてその役割も果たした施設でした。

●議案第42号:村道認定3路線現地調査を実施

産業福祉常任委員会は2月20日、村道認定申請があった3路線(大河内地区本郷神社線167m、不土野地区古枝尾水道水路線370.5m、不土野地区天包線54m)を現地関係者に立ち合いいただき調査し、村道認定を可といたしました。今後も関係者の要望を生かした調査に取り組みます。



村長に聞く! ~ 一般質問 ~



そうざ ふくお
蔵座二九生 議員

質問

少子化、人口減少に対する学校運営について

問1

小学校の統廃合について現在、村内小学校5校において児童数が5人をきる学校もあり従来通りの地域と共に教育を推進することが出来なくなるのではないかと。村として学校の統廃合は考えているか。

答1

(教育長)統廃合に関しては現在のところ考えていないが、今後の児童数の推移を見ながら検討する。いずれにしても子供の数を増やす対策を早急に行うことが一番の解決策と考える。

(村長)統廃合については本村のように小規模校が多い地域では避けては通れない問題だが、皆さんの理解とそれぞれの意見を集約しながら決めていく。

問2

児童減少解決のため山村留学制度を導入する考えのようであるが、どのような手順で行う予定なのか伺いたい。

答2

(教育長)不土野小学校を考えている。家族同居方式で5月までに募集をスタートさせて10月、11月頃に体験留学を実施し、12月までに転校意思決定を行い、本格的な運用は令和8年4月1日の開始を目指す。

問3

児童生徒が減少する中、スクールバス運行不可地域を除くかたちで、小中一貫校に移行することを早い段階で検討しておく必要があるのではないかとと思うが。

答3

(教育長)山村留学の政策が生き詰まった場合は統廃合の政策に移行することになると考える。

(村長)現在の小中学校の形態が存続することが望ましい。今後しばらくは山村留学の状況を見ながら、同時にU・Iターンの政策を更にすすめ子育て世代の人口を増やす事も必要である。この2つの取り組みの結果で考える。



かわぐち よしひろ
河口吉弘 議員

質問

物価高騰に対する生活支援について

問1

国は昨年12月の臨時国会で、物価高騰による低所得者支援や子育て支援臨時給付金を補正した。本村の実施状況はどうなっているか。

答1

国の施策に基づいて低所得者に給付金を給付する。

問2

他町村では補正予算成立後、すでに給付金を支給していると聞く。村では対象者への周知をどのように進めているのか。

答2 給付金支給システムの開発をまって、この3月議会での給付金補正予算通過後に対象者に周知していく。

問3 物価高騰対応給付金は、非課税世帯に3万円、その世帯に属する子どもに一人当たり2万円が支給される。対象となる世帯数と子供の数、予算措置をお示しいただきたい。

答3 給付金対象基準日は令和6年12月13日で対象世帯は482世帯、子ども数は49名である。予算は1600万5千円であり、今回の補正予算で提案している。

問4 支給の用途はいつ頃になるのか。

答4 支給システム構築後速やかに支給できるよう急ぎたい。

問5 対象とならない世帯数、子どもたちの数を示していただきたい。

答5 659世帯と245名の子どもたちである。

問6 物価高騰は、主食の米が前年比1.7倍、5kgで4000円超、野菜や日用品が2倍から3倍、ガソリンや灯油の高騰は一般世帯にも大きな負担となっている。村長の政治決断で給付型プレミアム商品券発行など、独自の支援策をすべきではないか。

答6 県が実施する予定の臨時交付金に手を挙げ、プレミアム商品券発行事業実施を要望している。



質問

柳田國男生誕150周年記念事業の実施について

問1 日本民俗学の創始者柳田國男は明治33年に兵庫県福崎町に生まれ、今年7月に生誕150周年を迎える。明治41年7月に椎葉を歴訪し、狩の作法を記した「後狩詞記」を出版。椎葉はまさに日本民俗学発祥の地であり、生誕150周年を機にその功績を後世に伝えていく取り組みが必要ではないか。

答1 (教育長) 柳田國男の功績を讃えると同時に、村内を案内し「後狩詞記」の共著者ともいわれる当時の中瀬淳村長の功績も世に知らしめ、日本民俗学発祥の地である椎葉村を発信することが重要。生誕150周年の企画を行うとともに、来村した明治41年(1908年)の方が村にとって重要な意味があると考え、柳田國男と中瀬淳村長の関係性を捉え直し、情報収集に取り組んでみたい。

問2 生誕150周年記念事業の概要についてお聞かせいただきたい。

答2 (教育長) 民俗芸能博物館において、「特別展柳田國男の旅 民俗学の原点、宮崎県椎葉村から」の開催と特設ウェブサイト作りを企画。



しいば はじめ

椎葉一 議員

質問

これからの森林環境の変化と循環型林業の取組みについて

問1 ふるさと納税寄附金を頂いている企業・個人を招待して植樹祭を計画実行出来ないか。又クリ・ナラ・カシ等広葉樹苗木を植栽して小中学生の環境教育の一つにならないか、又寄附金の増額にも繋がって行くのではないのか。

答1 今後の林業施策の指針となる百年先の椎葉山構想として策定した新たな森林・林業ビジョンのもと、そのアクションプランに「森林・環境教育や自然体験等の機会創出」を掲げており、長期的な視点から未来につなぐ「経済林」と「環境林」の調和が取れた森林の実現を目指す。次世代を担う後継者の育成確保のほか森林機能の重要性を各関係機関と連携しながら「どんぐりの森づくり」をはじめ、様々な取組みを進めていく。

問2 森林・林業ビジョンには出ていないが、桑弓野の村有林に数年前に植栽したエリートツリー・センダン・ユリノキ等の早生樹種が現在どう成長しているのか。又椎葉の森林環境の中で適応し20年程度の短期間で成長するが将来に向けて木材製品化の価値はどうか。

答2 早生樹種については桑弓野の村有林地に試験植樹して3年目を迎えており、樹種で成長が早いもの、そうでないものがある。気候・標高・地形などが大きく影響しており、評価にはまだ期間を要する。他地域の情報も踏まえ木材製品としての価値も不透明な状況であり、森林林業ビジョンには今後の実証結果を踏まえ検討が必要と考える。

問3 撤退後の椎葉木材加工センターに議会で状況を見に行き、製材工程の再稼働はコスト経費上無理であるが、これからの循環型林業を考える時に縮小版製材工場は出来ないものか、又畜産農家のノコクズ生産販売を合わせて椎葉村で出来ないものか。

答3 製材部門撤退後の縮小版製材工場の検討について、森林・林業ビジョンの具体策として「第6次産業の創出」を関係者による協議・先進地視察等を行い適切な規模の製材機能を持つ環境整備に取り組む。又畜産農家のノコクズ生産も協議して生産可能かどうか判断する。

問4 森林・林業ビジョンを進める中で森林林業を専門の地域協力隊の募集・採用をする中で人数・配置・配分をどの程度考えているのか。

答4 森林・林業ビジョンを進めていく上で自伐型林家を目指す地域おこし協力隊3名と専属的な森林管理専門員1名を村職員として4月に採用し、さらに今後の担い手育成確保に積極的に取り組み各施策がスムーズに遂行出来るよう体制整備に努めていく。



しいば ともなり

椎葉智成 議員

質問

村の活性化と雇用対策について

問1

椎葉村複業協同組合に村内の企業が参加すれば、人手不足を解消できるのではないかと。また建設業関係や農林業も人手不足や担い手の確保に苦労をしている、今以上に転入や誘致を促す施策に力を注ぐべきではないか。結婚支援についても、村として積極的に結婚支援施策を行う考えがあるものか。

答1

組合が設立され、労働力対策が行われているが、事業者も派遣費用や派遣希望に対してのマッチングが希望通りに行くのか不安もあることから、最初は組合員外の利用を進める形で促していく考えであると聞いている。雇用対策に関しては、村の未来に必要な人材を繋ぐ、起業の促進、仕事を見つける支援、廃業増加への対応の4つを掲げ、その中で具体的に検討実施を行う。結婚支援については、少子化対策に繋がる企画に対し、柔軟な姿勢支援を検討していく。人口減少に対し、今以上に強い危機感を持ち、官民一体となって、最大限の取り組みを行いたい。

問2 村内出身の高校生や大学生など対象に地元企業の魅力紹介を行い、理解を深め進路選択の幅を広げる企画を行ってみたいだろうか。

答2 椎葉に帰ってくるという方が、数えるほどしかいないのが現状である。椎葉に帰ってこようという気持ち、気分が起ころうような魅力的な政策が必要だと感じている。今は仕事をする側が選ぶ時代になっており大きな壁を感じているが、魅力ある政策を展開しながら、そこにいい人を呼び込むことが大事だろうと思っている。

問3 人口2,000人を切るのは時間の問題である。このことは、村の財政運営にも大きく影響を及ぼすことである。現状に強い危機感をもって、最善策を取ることが大事ではないか。

答3 やって見ないと分からない事もある。新しい企画に挑戦しないと何も始まらない。挑戦するスタイルはずっと継続していきたいと思う。村の将来を皆で支えていきたい。





おまえ ひでひさ

尾前秀久 議員

質問

自伐林家型林業の育成に向けた取組について

問1

小規模な山林を管理また施業できる自伐型林家を育成することが大切だと考えるが。

答1

保育放置問題の具体策として、長期多間伐施業、針広混交林化害災に、強い道づくりの推進において自伐・自伐型林家は必要。地域おこし協力隊として今年4月から3人が着任予定。

問2

3名の着任はありがたい、この協力隊の人達を育成する上での経費はどの様になっているのか。

答2

国の特別交付税なども活用した上で、必要最低限な装備について支援していく。又、本村で自伐林家を目指す方々にも同じ支援を考えている。

問3

答弁の中に村内で自伐林家を目指す方にも、同じ支援をしていくとの事だが、現在村内での若者が林業に従事している事はご存じですか。

答3

現在、林産事業体に就職されていることは認識している。どのような支援ができるのか、今後考えていく。

問4

村内には現在小規模でも数名の自伐林家とし動いておりますし、最近本格的に始めた方もいる。Uターンも大切だと思いますが、Uターンこそ大切では。

答4

両方に区別なく同じような立場で支援していきたいと考えている。

問5

自伐型林業を始めるに当たって障壁となる機械購入等、初期投資に対する見解について。

答5

必要最低限の機械については支援する。又、初期投資を抑制するためリースの導入も考える。

問6

Uターンには良しとしてUターン者にとっては購入が望まれる。補助率の大幅な見直しを。

答6

一つの支援策だと思うが今後の検討材料にする。

問7

高性能林業機械の補助を始めた頃は500万円程度であったが、現在900万円近くとなっている。見解を。

答7

ベースとなる機械を持つことは大事な事と思う。検討課題にさせて頂く。



なす しげみ

那須重美 議員

質問

部活動の地域移行について

問1

国は少子化に伴い、部活動の地域移行をしめしている。宮崎県においても、新たな地域クラブ活動のあり方に関する方針を策定している。認識を確認する為、この地域移行についてどのように認識するものか伺う。

答1

(教育長) 村の教育の新しい取組にも部活動の地域展開に関わって、地域全体で活動を支える体制づくりに向けた協議会をスタートさせる。いろいろな側面から支援していく。

問2

教育委員会として このテーマについて絞って議論した経緯があるものか伺う。村の教育の新しい取組において、体制づくりに向けた協議会とあるが、この取組について考えを伺う。

答2

(教育長) 令和7年度に関係者を集め、協議会を立ち上げ、順次進めていく。令和9年度には100%にする。

問3

地域移行後について、位置づけとして学校教育の一環としていくものか、社会教育の一環としていくものか伺う。

又、指導者の身分として、会計年度任用職員として 確保出来ないものか伺う。

答3

(教育長) 学校指導要領の中で位置づけられている学校教育の中で展開される部活動になる。
協議会の中で、様子を聞き、実態を把握しながら進めていく。
意向は学校側が把握して、学校だけでは厳しいければ村も積極的にサポートしていく。



令和7年度当初予算に対する「総括質疑」

かわぐちよしひろ

5番: 河口吉弘 議員

質疑

学校給食費の公会計化について

- (質疑) これまで学校で処理されていた給食費の徴収や食材費購入支払い事務が教育委員会事務として行う「公会計」が新年度から実施される。学校側の負担が軽減される好ましい施策だが、後継敬事務を担う教育委員会、とりわけ学校教育グループ職員のスタッフ不足が心配である。見解をお聞かせいただきたい。
- (村 長) 数年前から公会計化に移行を検討、すでに保育所では実施している。現在の教育委員会の陣容で対応していく。
- (教育長) 学校教育、社会教育ともに協力しながらやっているので大丈夫。その根拠は、給食費が定額(小学校3000円、中学校3500円)ということとこれまで給食費の滞納がなかったこと。

質疑

森林・林業ビジョンと加工センター撤退について

- (質疑) 林業の6次産業化の1丁目1番地は木材加工。早急に検討を進めていくとのことだが、どのように進めていくのか。
- (村 長) 6次産業化は森林・林業ビジョンにも位置づけている。村の材料で木製品を作っていく検討は既にスタートしており、加工場跡利用についてはまだはっきりしていない。ビジョンに即した形で取り組んでいく。

質疑

第3期椎葉村総合戦略について

- (質疑) 策定中の「第3期まち・ひと・しごと創生椎葉村総合戦略」の基本方針に、「ソト」の力が掲げられている。「ソト」の力も大事だが、「ウチ」の力、内発的な力をどう作り上げていくかということも大事と思うが、考えをお聞かせいただきたい。
- (村 長) ここに住んでいる我々が知恵を出し力を発揮していく事は当然。それに加えて「ソト」の力も求め、総合戦略を進めていく。

そうざ ふくお

2番: 藏座二九生 議員

質疑

国道265号線の迂回路について

- (質疑) 国道265号線の早期復旧が見えなくなった今、片道1時間半くらいかかる大河内への迂回路の舗装工事を前倒しで行い1日でも早く前線舗装を行うべきではないかと思うが。

(村 長) 特に大河内からの移動手段がままならないという現状がある。そういった実情を訴えながら県と一緒に頑張って1日も早い復旧に努めていく。

質疑

世界農業遺産について

(質 疑) 2025年12月で世界農業遺産認定10周年を迎えるが関係機関と連携した記念イベント、また本村独自のシンポジウムなど企画し焼畑などの貴重な伝統文化などをアピールするようだが具体的な企画、イベントなどがあるか伺いたい。

(村 長) 村が元気が出るようにイベントをしながら本年度は向山焼畑蕎麦倶楽部を中心とした焼畑農法で情報を発信して、世界農業遺産の村としてしっかり前を向いていく。

おまえ ひでひさ

4番:尾前秀久 議員

質疑

森林従事者の育成について

(質 疑) 本村の財政運営はかなり厳しいと伺います、しかしこの村には先代の人たちが育ててくれた森林資源があります。その資源をどう生かすかが今後問われてくるのだろうと考えます。今、数社の林業事業者が村内で頑張っています。そしてその中から新たな事業者が誕生しています。確かに外の力を生かすことは大切ですが、今ある事業者を育てることで新たな人材も生まれてくるものだと思いますが村長の見解を求めます。

(村 長) そうした循環をこの新しい森林林業ビジョンによって組み立てていき、事業者が次々と育つ林業の理想が進んでいくものと思う。森林林業ビジョンの実行に自信をもって進めていく。

なす しげみ

9番:那須重美 議員

質疑

予算執行体制について

(質 疑) 令和7年度の予算執行体制、人材確保、業務の効率化についてどのように認識するものか伺う。

(村 長) 人員は募集しているが中々 集まらない。外部委託についても、外に任せきれないところがある。何とか現状の体制で令和7年度は執行していく。

質疑

物価高騰に対する取組について

(質 疑) 森林環境譲与税、財政調整基金などを積極的に活用し村民の生活を守る取組を強化すべき。今後の取組について、基本的な考えを伺う。

(村 長) 国の支援を待ち、対応していく。
議論を深めながら現実的な今の事柄に対応していく。
意見交換をお願いしたい。

日向市・東臼杵郡町村議員研修 令和6年12月25日

日向市・東臼杵郡町村議員研修が日向市で行われた。令和時代における地方議員・地方議員の社会的役割と称し、宮崎大学・桑野齊先生より講義をいただいた。研修の内容は、若者（大学生）と地方議会、地方議員、人口減少と自治体政策等、現在抱える地方の大きな問題点であった。今後の人口減少社会・地方創生において我々地方議会や議員の役割は極めて重要であることを再認識させられた研修であった。



椎葉・五家荘線県道昇格に向けて 令和7年1月16日

椎葉村向山地区と熊本県八代市泉町樺木地区を結ぶ延長2.7kmの峰越連絡林道、椎葉・五家荘線の県道昇格について日向土木事務所に要望活動を行いました。本村より昇格促進期成会会長である村長をはじめ議長以下12名、八代市より副市長以下7名参加しました。本線は広域的には八代市中心部と日向市中心部をつなぐ一部路線であるとともに、県境を越えて椎葉村と八代市泉町を繋ぐ地域間交流に大きく寄与する路線であることを説明し県道昇格を要望しました。



県道「上椎葉 - 湯前線」改良促進協議会 令和7年1月23日

「尾八重・不土野・尾向」3地区の公民館合同で、県へ改良促進のお願いに赴いた。県土整備部の方々も快く受けていただき、6年度2工区に渡る改良工事、また災害復旧に対するお礼を申し上げるとともに更なる改良工事を要望した。

回答では、工区を見据えながら進めていき、7年度においては3地区の念願であった六弥太工区の用地交渉に着手するとのこと。今後も早期の全線改良に向け、予算確保の要望にさらに取り組んでいきたい。



三村議会協議会要望活動 令和7年2月5日

椎葉、諸塚、西米良村の総会で決定された要望事項を、県知事・総合政策部長・環境森林部長・県土整備部長に提出し意見交換をおこなった。

- 要望内容
- 一、国道並びに県道の早期改良整備促進について
 - 二、森林・林業・木材産業の振興対策について
 - 三、災害の激甚化に対応する、強靱な森林づくりについて
 - 四、テレビ・インターネットの環境整備について

各部署の担当職員も同席し、丁寧な説明と回答をいただいた。今後も三村で抱える課題を訴え、早急に解決できるよう強く要望活動を行っていきたい。



議会の動き

12月	26日	第1回議会活性化特別委員会	委員会室
	4日	椎葉村二十歳を祝う会	開発センター
1月	6日	消防出初式	椎葉小グラウンド
	7日	新春賀詞交歓会	開発センター
		常任委員会合同村内政務調査	胡麻山加工場
		第2回議会活性化特別委員会	委員会室
	8日	県関係機関あいさつまわり～9日	県庁他
	13日	市町村対抗駅伝大会	宮崎市
	16日	椎葉五家荘線県道昇格促進期成会総会及び要望活動	日向市
	22日	九州中央自動車道沿線議会協議会要望活動～24日	福岡市・東京都
		県市長会主催研修会	都城市
	23日	県道上椎葉湯前線要望活動	宮崎市
		例月監査～24日	監査室
	30日	県町村議長会主催議員研修	美郷町

2月	5日	三村議会協議会要望活動	県庁
	6日	国道388号整備促進期成同盟会要望活動	福岡市
	10日	北部広域行政事務組合議会	延岡市
	11日	門川町90周年記念行事	門川町
	13日	県町村監査委員協議会定期総会	宮崎市
	17日	第4回日向東臼杵広域連合議会	日向市
	19日	県町村議会議長会定期総会・研修会	宮崎市
	25日	例月監査～26日	監査室
	26日	第1回議会運営委員会	委員会室
		第1回全員協議会	委員会室
		第7回議会広報広聴特別委員会	委員会室
		第3回議会活性化特別委員会	委員会室
		郡町村議会議長会定期総会	門川町
3月	5日	椎葉村議会3月定例会～14日	議場
	14日	第2回議会運営委員会	委員会室
		第2回全員協議会	委員会室
	16日	椎葉中学校卒業式	
	17日	五ヶ瀬町議会との意見交換会	かてりえ
	25日	村内小学校卒業式	

編集後記

3月は別れの季節。

卒業や転勤、引っ越しなど様々な別れのシーンが目に見えます。

別れは同時に新しい出会いの始まりでもあります。

さて、令和4年度台風災害復旧のさなか、昨年度も被害を受けました。議会としても令和7年度は行政と一致協力して、色々な問題解決に向けて取り組んでまいります。

村民の皆様のご要望、ご意見をお待ちしております。

椎葉 邦博

椎葉村議会 テレビ(11ch)生中継

6月定例会は6月18日開会予定となっています。

お問い合わせは議会事務局まで
(TEL 0982-67-3209)

是非傍聴にお越しください。

議会だよりは村ホームページでもご覧いただけます。